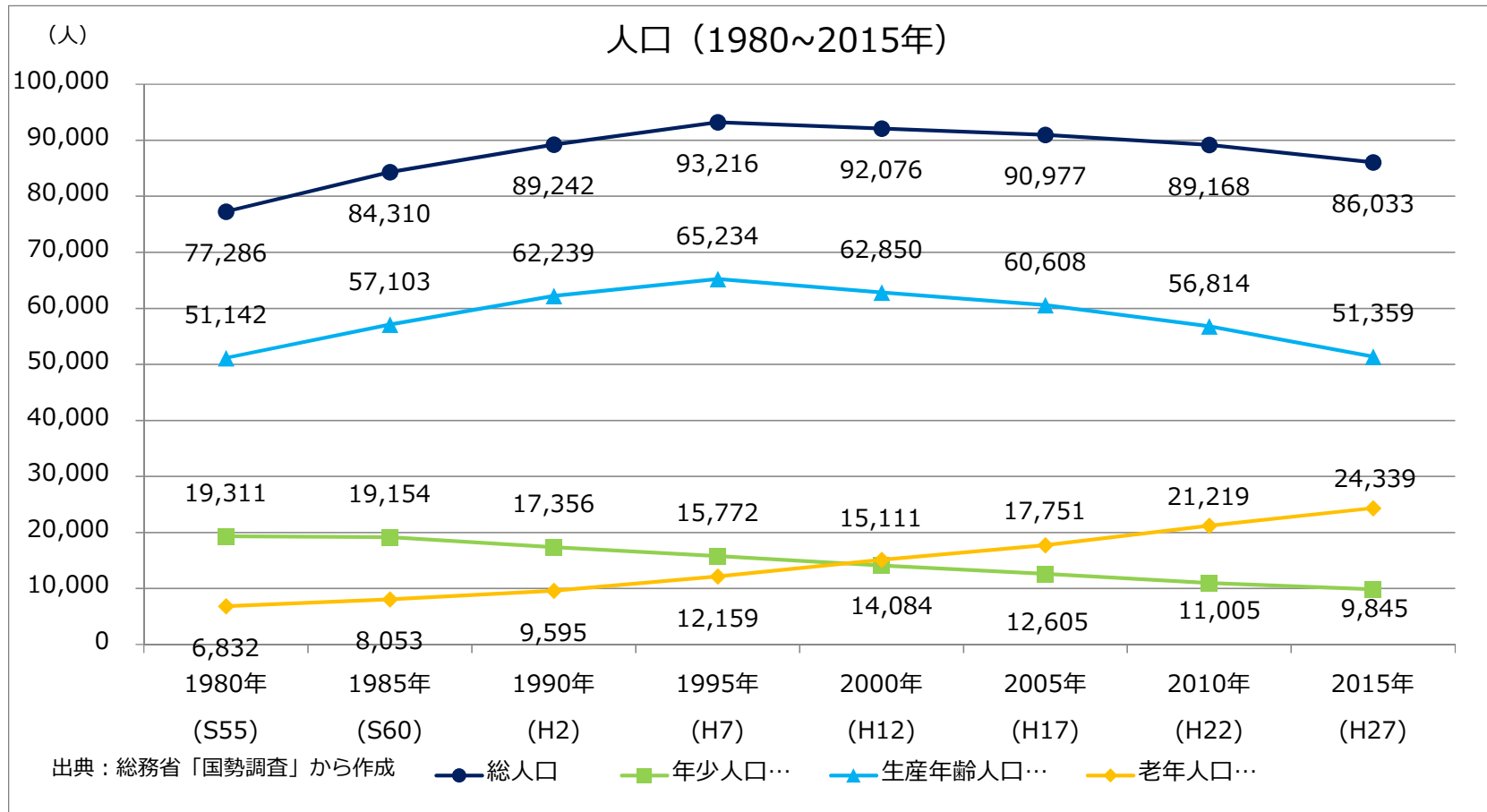


# 君津市の人口等について

君津市役所  
企画課

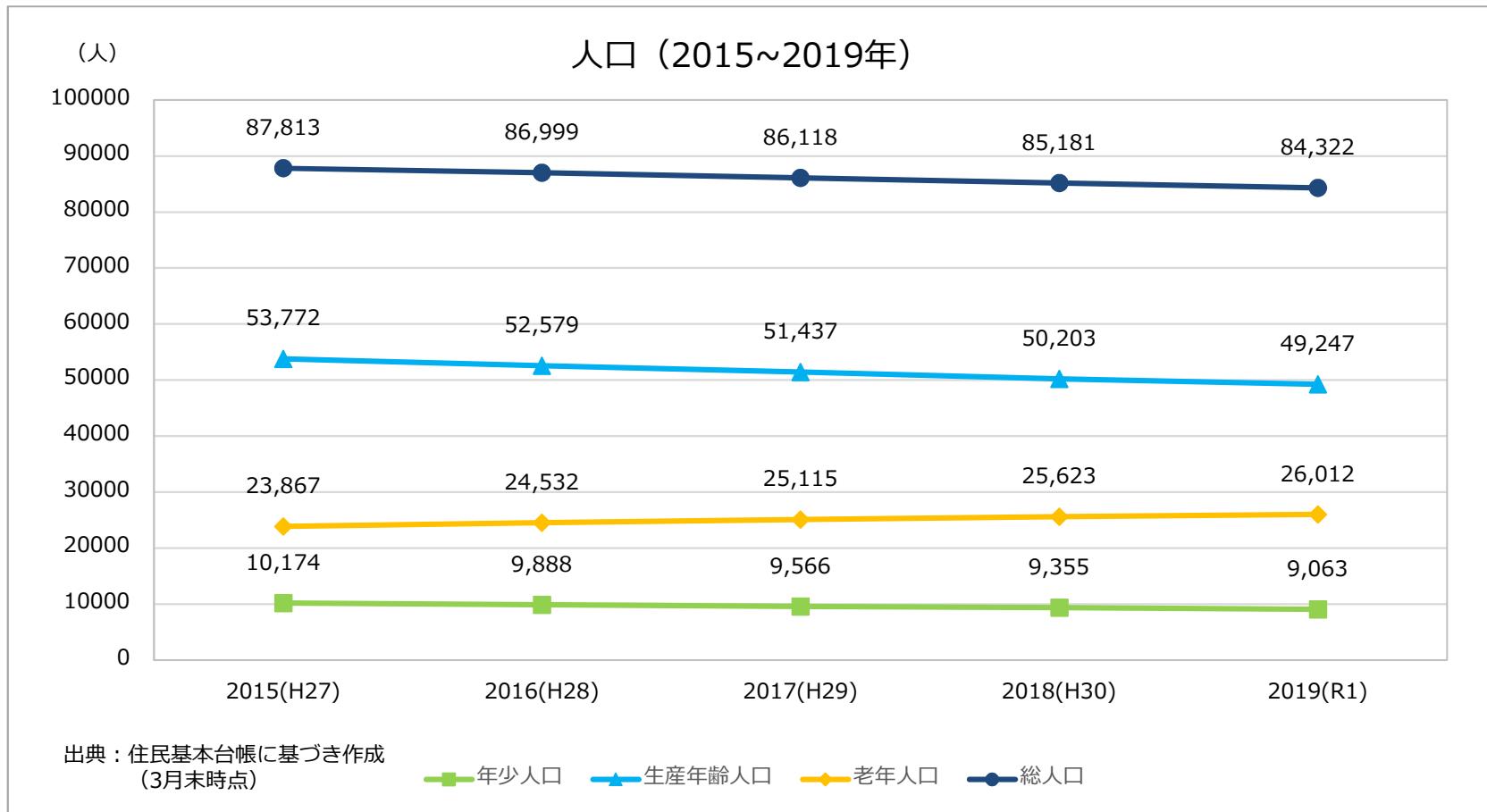
## 君津市の人口の推移（1980～2015年）

本市の人口は、1995年（平成7年）の93,216人をピークに減少傾向に転じております。



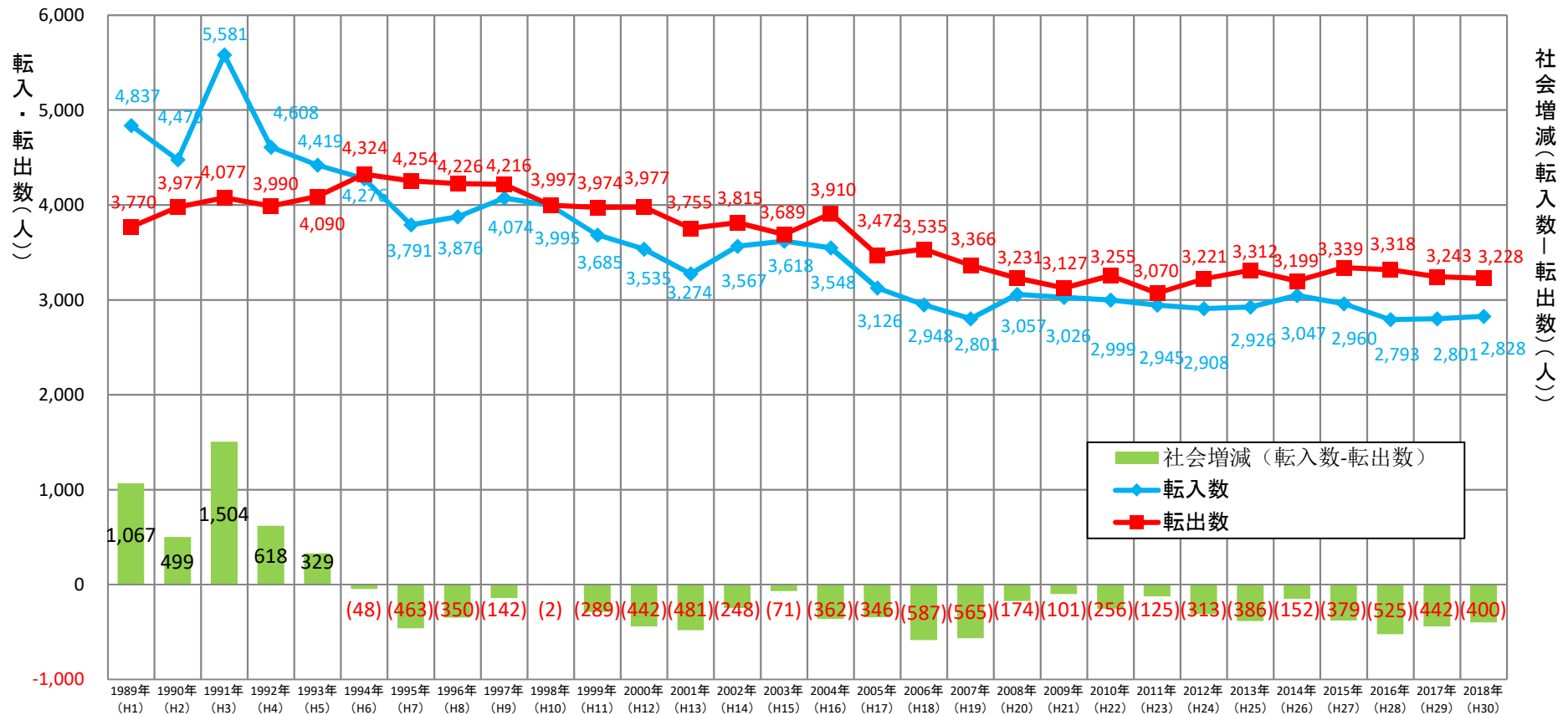
## 君津市の人口推移（2015～2019年）

本市の人口は依然として減少傾向にあります。また、生産年齢人口（15～64歳）、年少人口（0～14歳）が減少しているのに対して、高齢人口（65歳～）は増加しており、高齢化が進展しています。



## 社会動態の推移

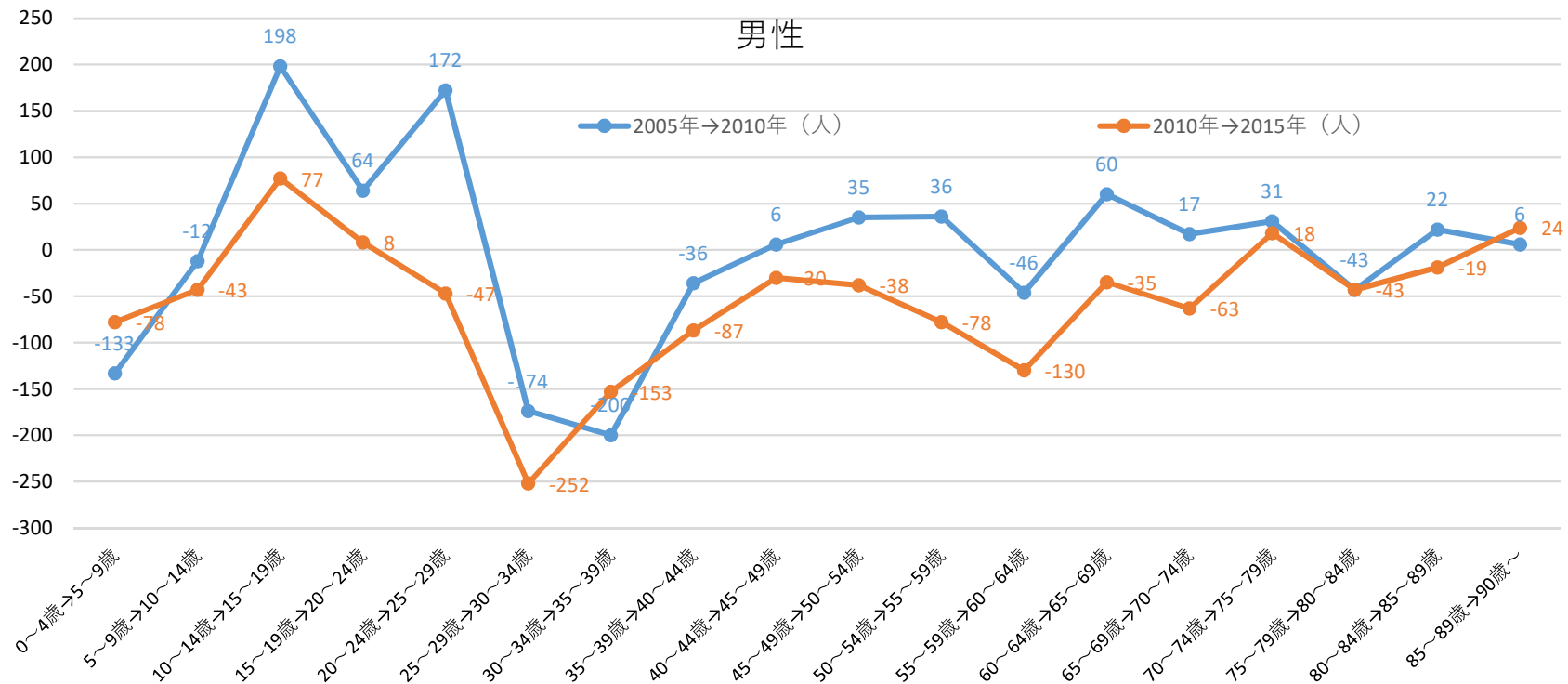
転入数と転出数の差である社会動態では、1994年（平成6年）以降、転出者数が転入数を上回る社会減が続いている状況です。



出典：君津市「君津市統計書」千葉県「平成30年千葉県毎月常住人口調査報告書(年報)」から作成

## 社会動態の傾向（年齢階級別純移動数（男性））

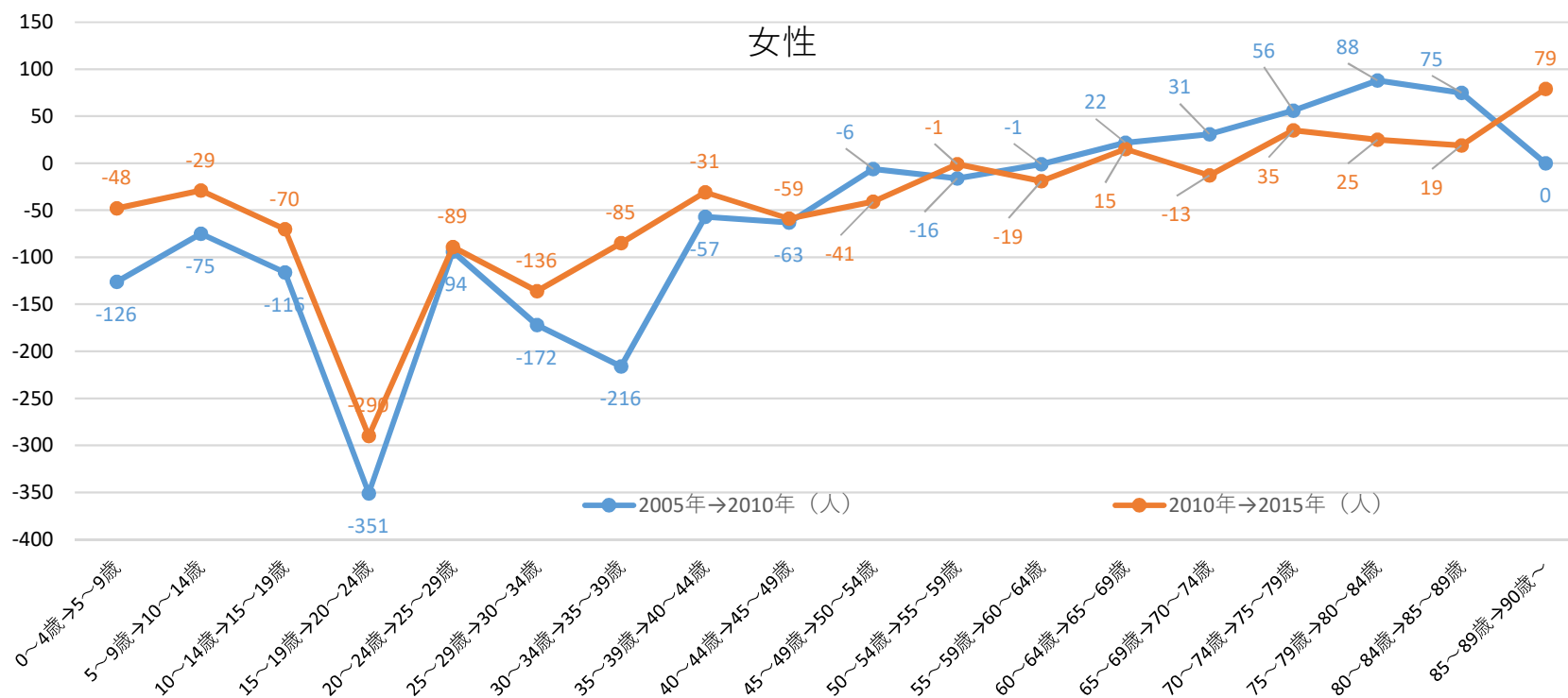
- ・年齢階級別純移動数：ある年齢幅の人数が5年後にどれくらいあったかを示す。例えば、男性で2005年に0～4歳の方が5年後の2010年に5～9歳となったときに133人減った。
- ・「2005年→2010年」と「2010年→2015年」を比較すると、多くの年代で減少数が拡大しています。
- ・「25～29歳→30～34歳」、「30～34歳→35～39歳」の若い世代の減少数が最も大きく、結婚や住宅購入等のタイミングで転出していると考えられます。



出典：RESASから作成（元データ 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」）

## 社会動態の傾向（年齢階級別純移動数（女性））

- ・年齢階級別純移動数：ある年齢幅の人数が5年後にどれくらいあったかを示す。例えば、女性で2005年に0～4歳の方が5年後の2010年に5～9歳となったときに126人減った。
- ・「2005年→2010年」と「2010年→2015年」を比較すると、グラフの形はほぼ同じだが、「30～34歳→35～39歳」の減少幅が縮小しています。
- ・「15～19歳→20歳～24歳」のタイミングで最も減少幅が大きいため、進学や就職等のタイミングで転出していると考えられます。

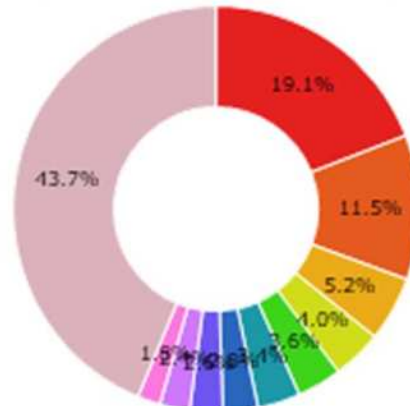


出典：RESASから作成（元データ 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」）

## 転入数・転出数の上位地域

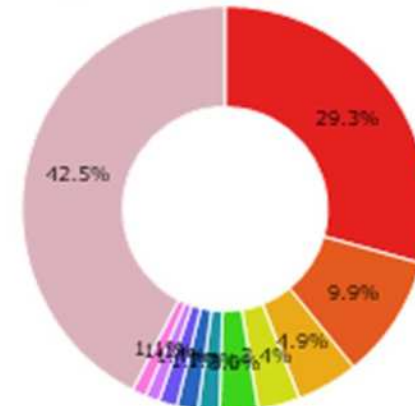
- ・転入数は木更津市473人が最も多く、次いで富津市285人となっています。
- ・転出数は木更津市889人が最も多く、次いで富津市299人となっています。

転入数内訳 (2017年)



- 1位 千葉県木更津市(473人)
- 2位 千葉県富津市(285人)
- 3位 千葉県其他市区町村(128人)
- 4位 千葉県市原市(98人)
- 5位 千葉県袖ヶ浦市(88人)
- 6位 其他の県(84人)
- 7位 神奈川県横浜市其他区(69人)
- 8位 埼玉県其他市区町村(65人)
- 9位 東京都其他区(59人)
- 10位 千葉県船橋市(45人)
- その他

転出数内訳 (2017年)

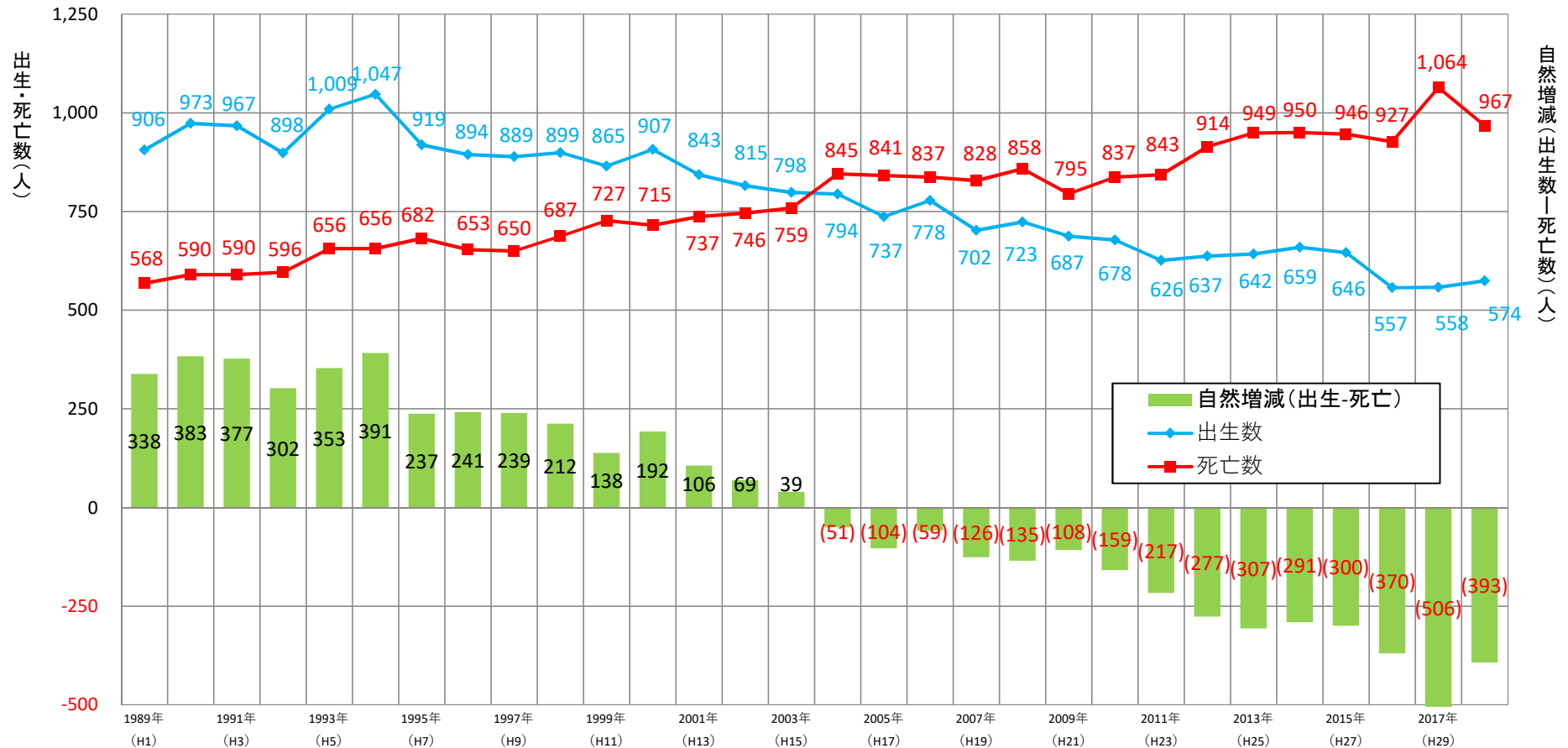


- 1位 千葉県木更津市(889人)
- 2位 千葉県富津市(299人)
- 3位 千葉県袖ヶ浦市(149人)
- 4位 千葉県千葉市中央区(102人)
- 5位 千葉県市原市(92人)
- 6位 千葉県市川市(52人)
- 7位 神奈川県横浜市其他区(51人)
- 8位 千葉県船橋市(44人)
- 9位 神奈川県川崎市其他区(34人)
- 10位 千葉県千葉市緑区(34人)
- その他

出典：RESAS（元データ 総務省「住民基本台帳移動報告」）

## 自然動態の推移

出生数と死亡数の差である自然動態は、2003年（平成15年）まで出生数が死亡数を上回る自然増となっていました。2004年（平成16年）以降は死亡数が出生数を上回る自然減となっています。

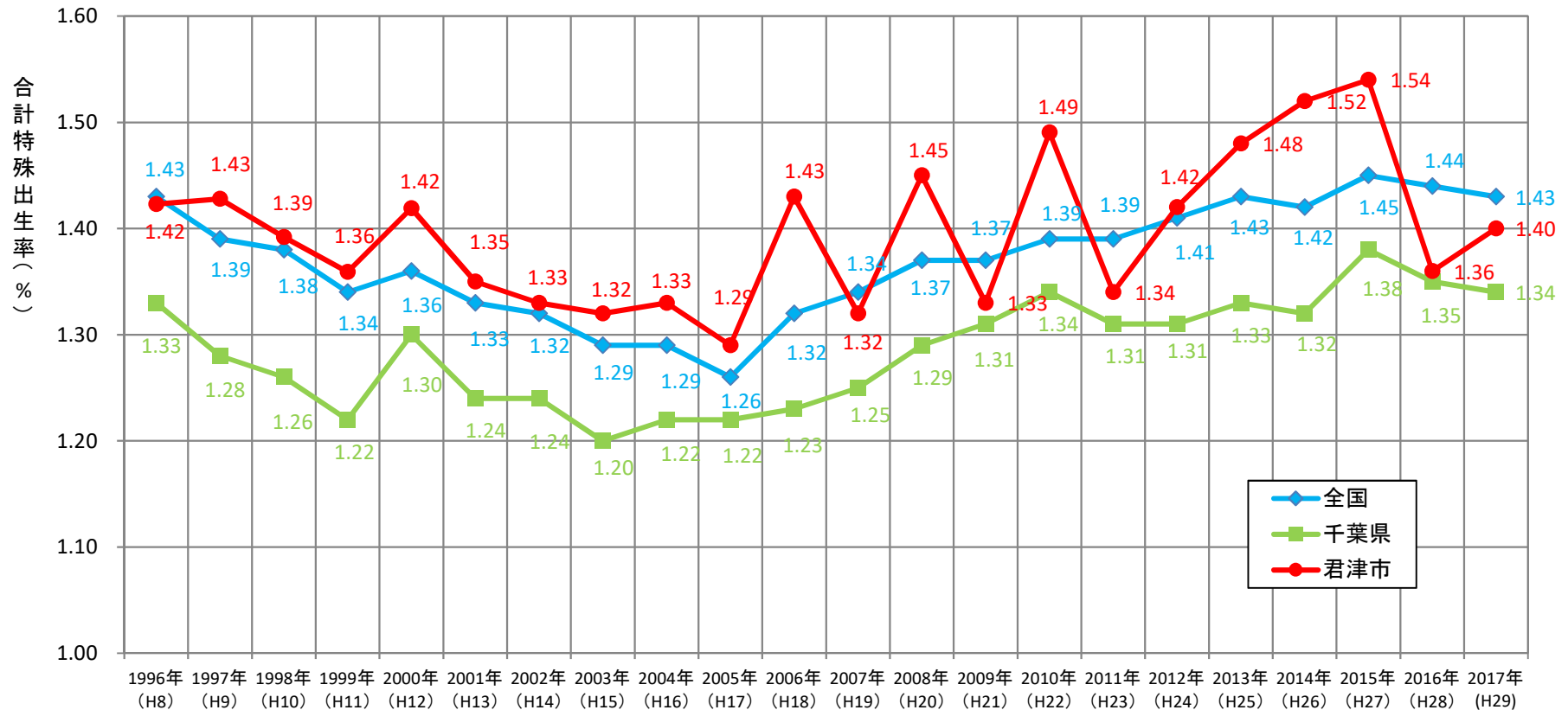


出典：君津市「君津市統計書」千葉県「平成30年千葉県毎月常住人口調査報告書(年報)」から作成



## 合計特殊出生率の推移

女性が一生の間に産む子どもの平均数を示す合計特殊出生率では、本市は全国や千葉県に比べて高い傾向がありましたが、2016年（平成28年以降）以降は全国平均を下回っている状況です。日本全体においても、長期的に人口を維持できる水準とされている2.07を下回っており、少子化が進んでいます。

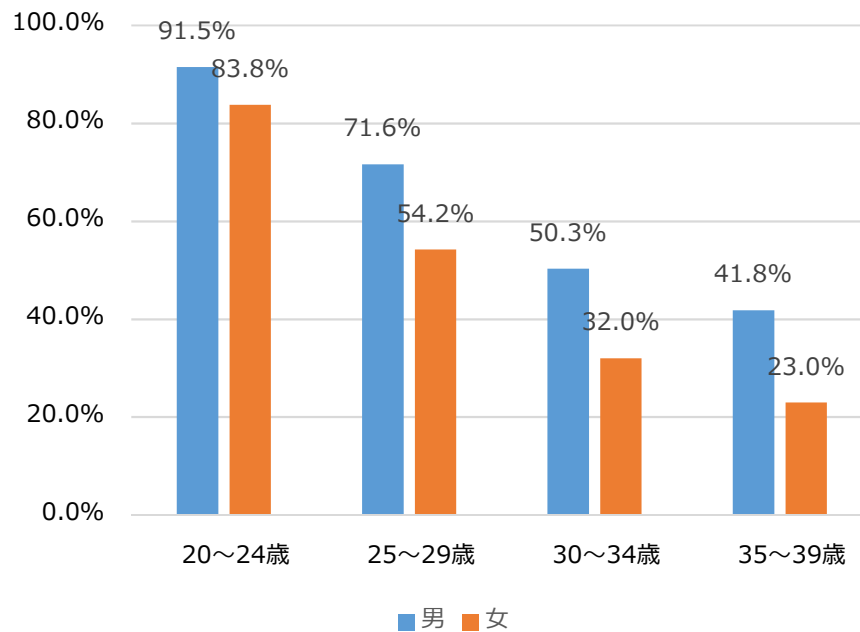


出典：千葉県「各種厚生統計調査」から作成

## 未婚率の推移

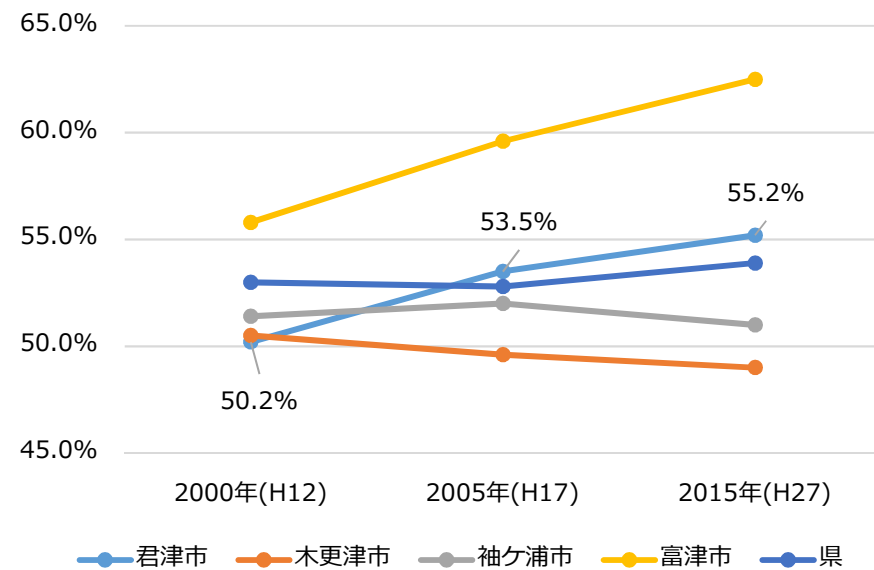
- ・男女の未婚率（20歳～39歳の人口に対する有配偶者（死別、離別（離婚）は含まない）の割合）を比較すると総じて男性の未婚率が高くなっています。
- ・本市の未婚率は上昇傾向にあり、近隣市と比較すると高い水準にあります。

2015年（平成27年）における未婚率の男女比較



未婚率の推移（他団体との比較）

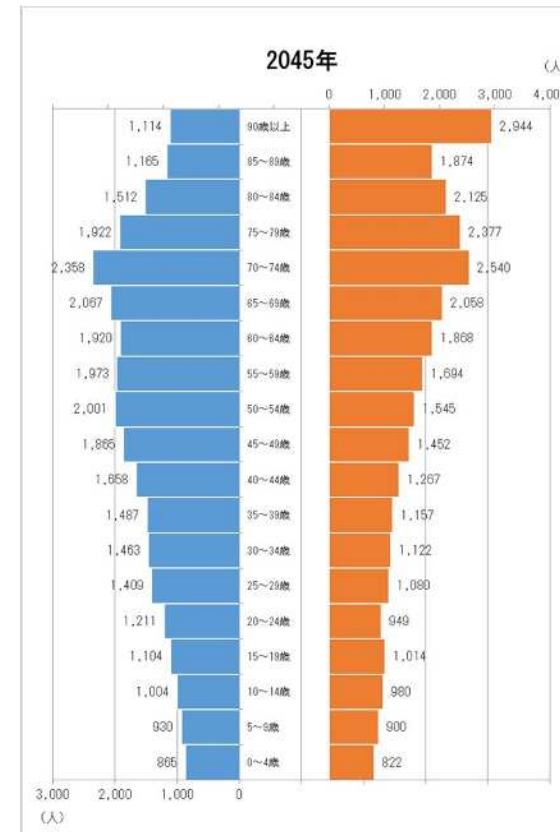
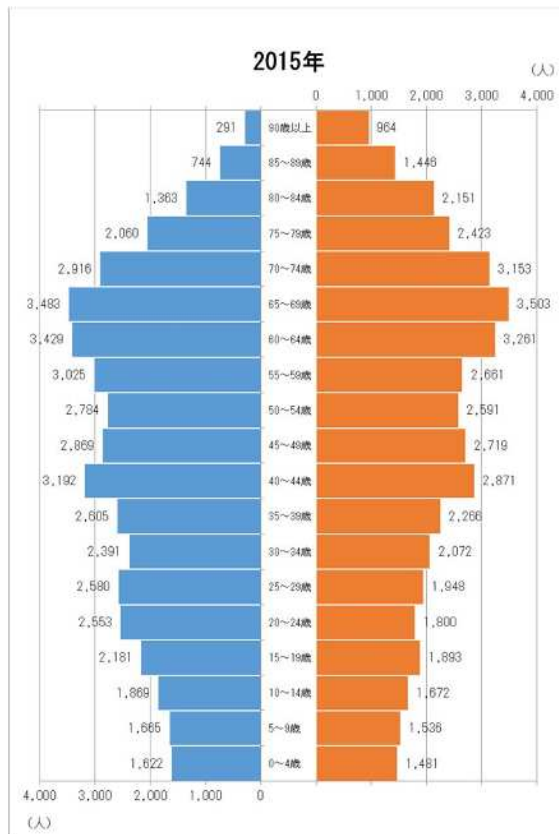
（20歳～39歳）



出典：総務省「国勢調査」から作成

## 年齢別人口構成（人口ピラミッド）

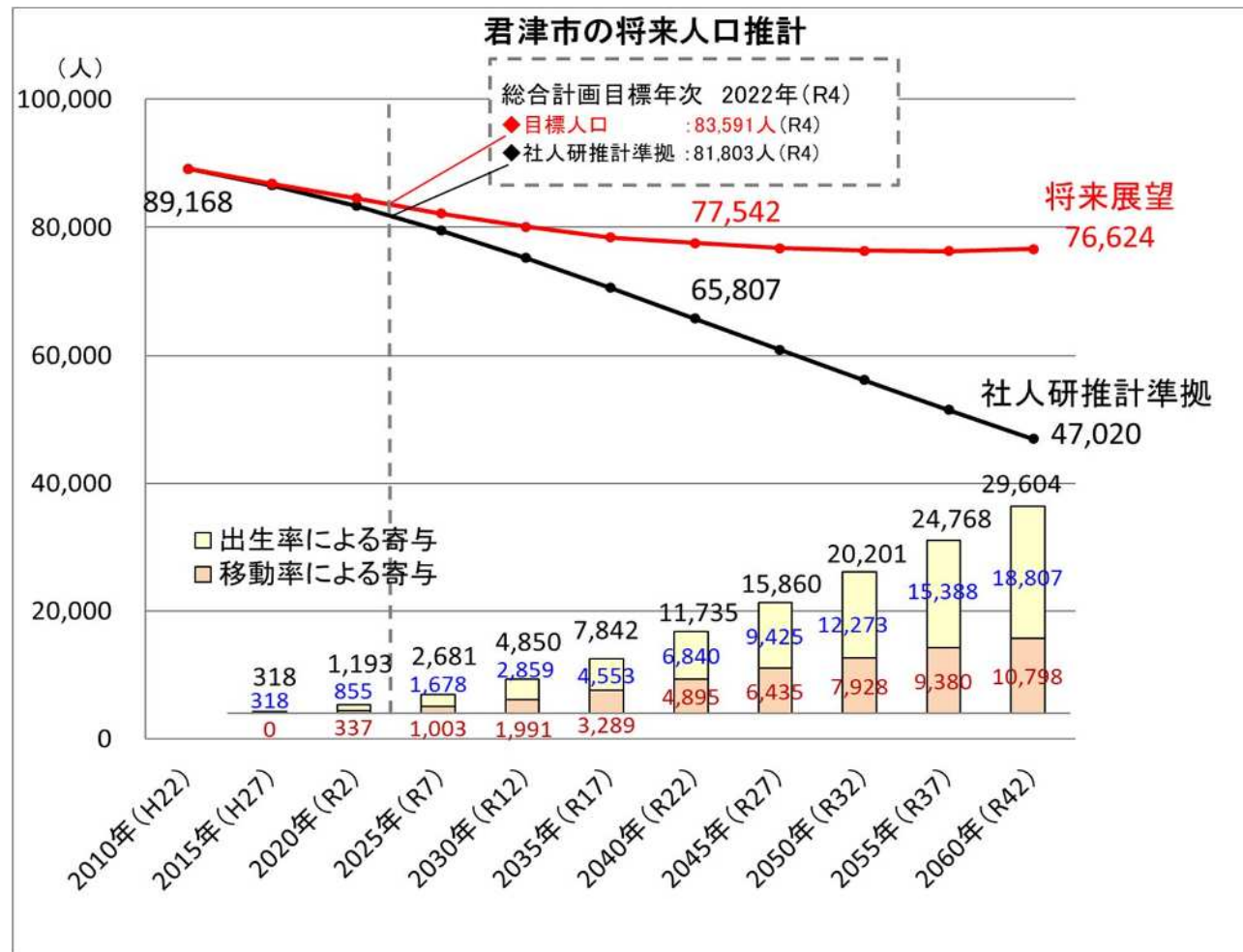
- ・本市の人口構成は、2015年（平成27年）時点で、男女ともに65歳～69歳前後がピークとなっています。
- ・2045年時点では、男性は70歳～74歳、女性は90歳以上がピークとなっています。



出典：総務省「国勢調査」から作成

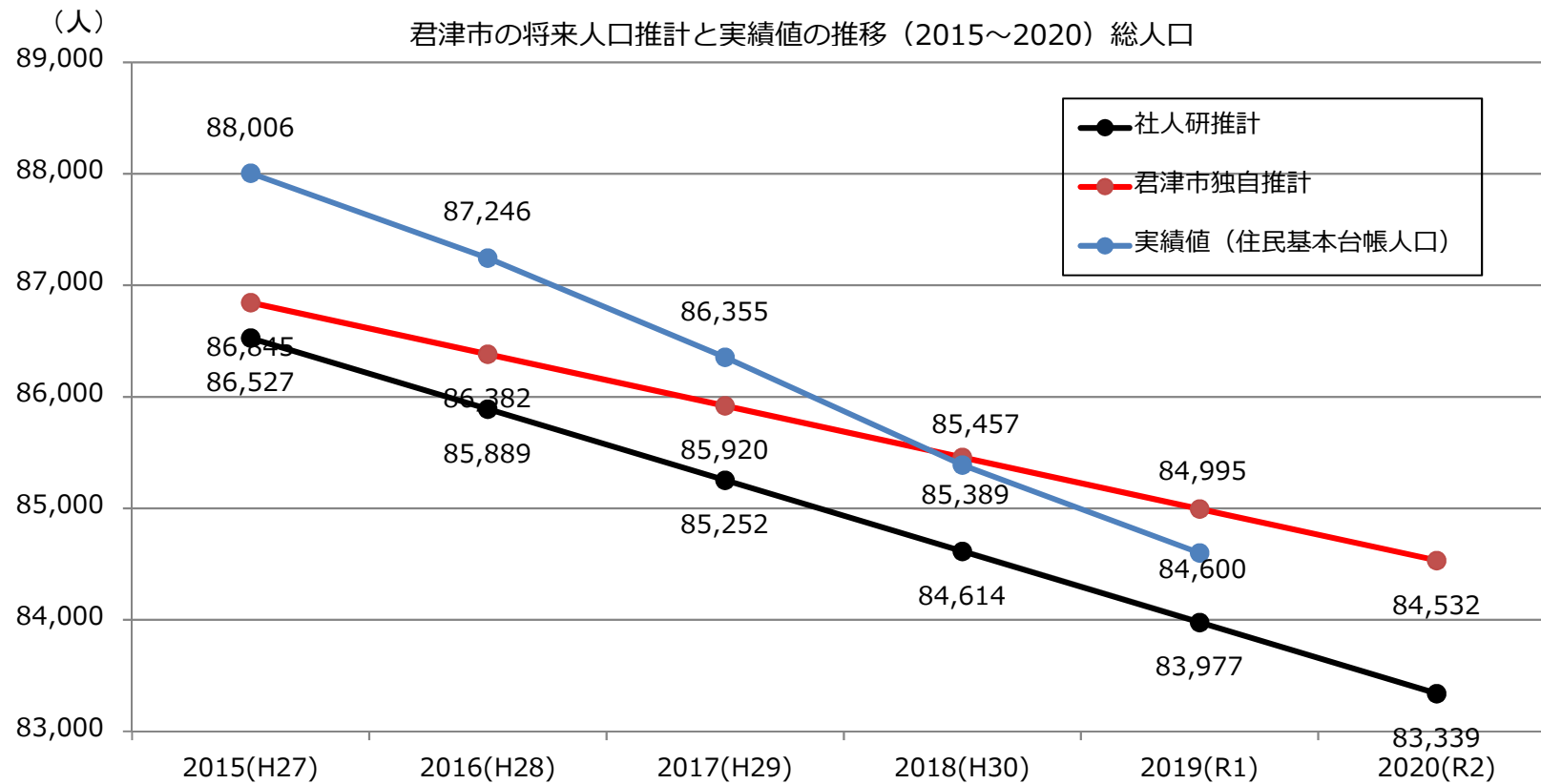
## 将来人口推計

- 君津市独自推計は各種施策・事業が最大限効果を発揮し、出生率や社会増減が改善した場合の推計値



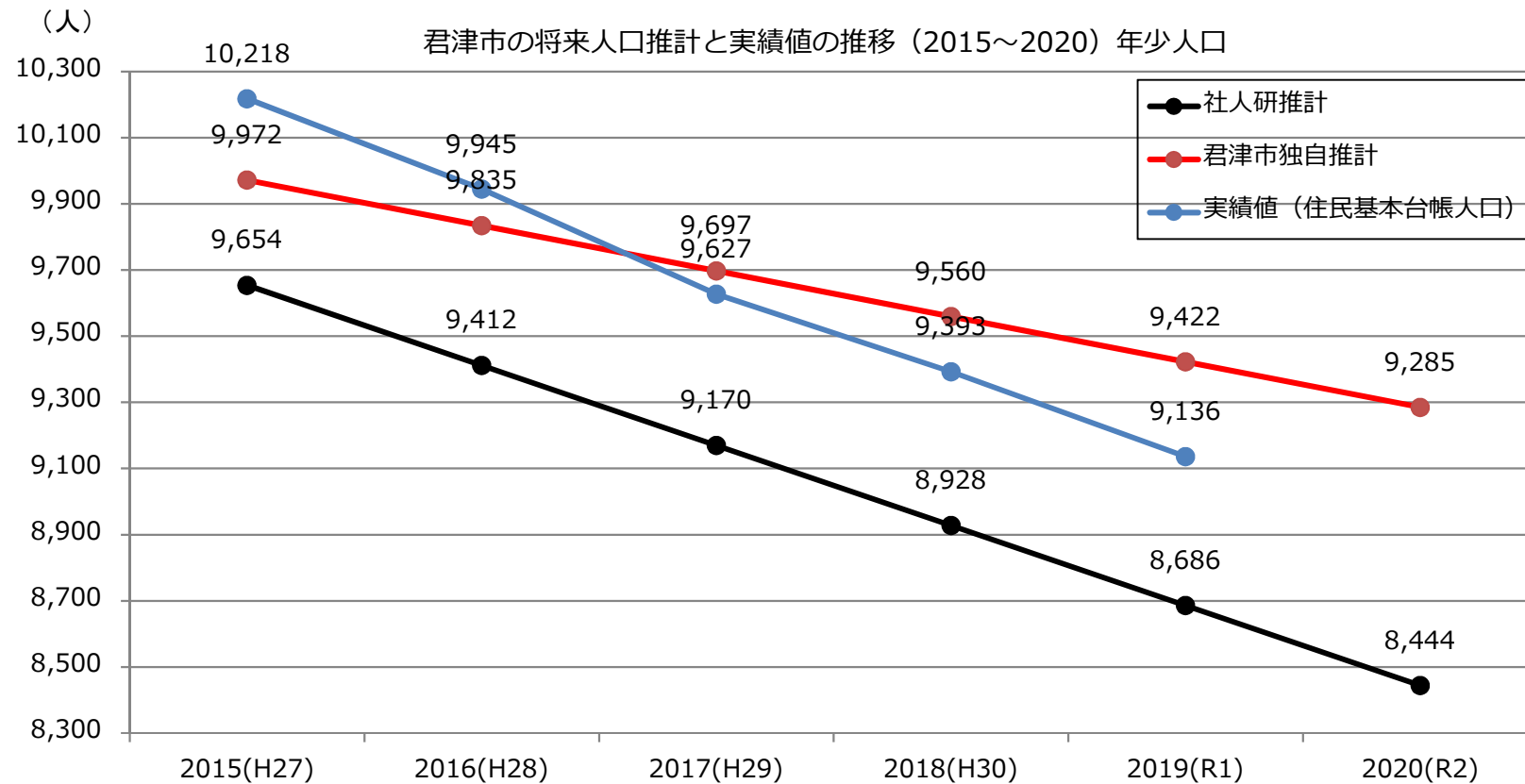
## 将来人口推計と実績値の推移（2015～2020）総人口

- ・ 2018年（平成30年）の時点で実績値が君津市独自推計値とほぼ同じ人数になっていましたが、その後君津市の独自推計の値を下回っています。
- ・ 2019年（令和元年）時点では社人研と君津市独自推計の中間となっていますが、このままのペースで人口減少が進むと社人研推計の値に近づいていくことが予想されます。



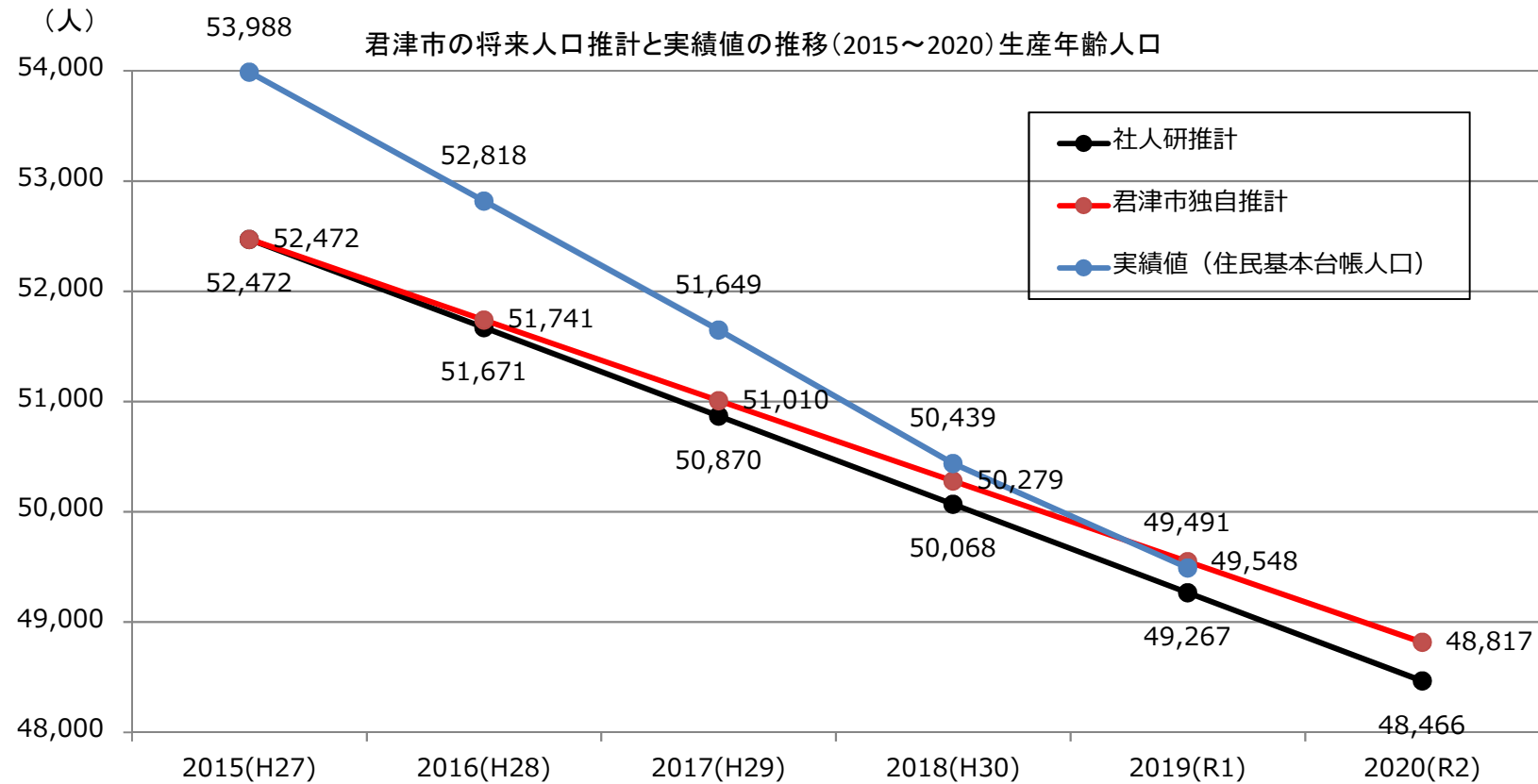
## 将来人口推計と実績値の推移（2015～2020）年少人口

- ・ 2017年（平成29年）時点で君津市独自推計を下回っています。
- ・ 数年後には社人研推計の値に近づいていくことが予想されます。



## 将来人口推計と実績値の推移

- ・社人研の推計値と君津市独自推計値に大きな開きはありません。
- ・2018年（平成30年）の時点では君津市独自推計より上に位置していましたが、2019年（平成31年）になって君津市独自推計を若干下回っています。



## 将来人口推計と実績値の推移（2015～2020） 老年人口

- ・ 社人研推計値と君津市独自推計値が同じ値となっています。
- ・ 社会増減が少ない世代になりますので、推計値に近い値を今後も推移していくと予想されます。

